

園名	あそか保育園
日時	令和7年 1月

## 1, 活動テーマ

<テーマ>

2歳児・砂場にある身近な音に触れてみよう

<テーマ設定理由>

・今までは室内で身近な音に触れてきたので子ども達が自然と砂場で遊んでいる際に見つけた音に触れてみてどのような反応、声があるのか気になった

## 2, 活動スケジュール

・園庭に出て好きな遊びを楽しむ中で砂場で好きな玩具を使ったままごと遊びをする

## 3, 活動のために準備した素材や道具、環境設定

・砂場、砂場の玩具数種類（スコップやプラスチックの皿、銀製の皿など）

## 4, 探究活動の実践

<活動内容>

・砂場で好きな玩具を見つけ自由に遊ぶ  
・保育士も一緒に遊びながら様々な素材の玩具（皿など）を側に用意してみる  
・子どもが自然と玩具同士が触れた時に出た音に気付き、気付きを言葉で知らせ遊びを繰り返し楽しむ

<活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり>



銀製の皿同士を叩いてみると音が出ることに気付く。「カンカンカン」「ラッパみたいな音だね」と言う。「面白いね」と保育士が言うと「もっと鳴らしてみる」と繰り返し行う。

素材の違う玩具も近くに用意してみると、自然と叩いてみようとする姿があった。「コンコンって聞こえるね音が変わったね」という気付きを言葉にする子がいる。



砂をコップから出したり入れたりを繰り返し楽しんでいる子がいたので「砂はどんな音だろう」と聞いてみると「ジャー」と言いながら砂を出し始める。その後も繰り返しながら遊んでいた。



## 5, 振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

砂場で一緒に遊んでいた3名と一緒にいった。砂場の玩具には様々な素材のものがあり、音の違い、変化なども見られ面白いと思った。子ども達は身近にあるもので遊ぶ中で音を感じているのだと思う。言葉で上手く表現できる子、知っている言葉の数の違いで子どもから出てくる言葉の違いはあるがそれぞれ感じていること、気付いたことを言葉で伝えようとしてくれていた。今回は身近にあるものに触れて音を感じることが出来たと思う。来月は冬の時期ならではの音に触れる経験をしてみたい。